



令和8年 春の叙勲・褒章

小泉蔵珍氏が黄綬褒章(業務精励)、具原重治氏が瑞宝小綬章(税務行政事務功労)受章の榮譽に輝かれました。心よりお祝い申し上げます。

黄綬褒章(業務精励)

小泉 蔵珍(年延)氏(85) 株式会社 蔵珍窯 会長 [多治見市太平町]

車の往来の激しい市街地道路から1本入った、「喧騒の中の静寂」を感じる会社のお庭で話を伺いました。

蔵珍窯は現会長の小泉蔵珍氏が1970年に創業。神主の家系(蔵珍氏は12代目)であったが身を立てる実業も必要と考え、幸兵衛窯で修業し絵付けを学んだ。技法は「赤絵」、「染め付け」、「織部」など。赤色には特にこだわり、原材料となる紅柄を千日間すり続けて絵の具に使っている。濃淡の美しい赤を使った絵付製品が代表的。職人育成にも熱心で、職人をもっと育てないと地域産業が衰退してしまうと心配する。仕事は見せることによって盗ませ覚えさせることが大事であるが、ここ近年、難しい状況になってきたことを嘆く。

座右の銘は「生涯修業で臨終定年」。まだまだ働く意欲満々です。



瑞宝小綬章(税務行政事務功労)

具原 重治氏(71) 具原重治税理士事務所 [土岐市泉町]

長年、税務行政に係り、その功績に対して授与されました。

元岐阜北税務署長。

延べ10年間名古屋国税局法人課税課に所属し、初めて法人第一統括官を拝命した富士税務署で「岳南法人会」の会員の皆さんに温かく接していただいたことをよく覚えているという。

土岐市出身。これから地元へ恩返しをするべく地域貢献を心掛けている。

平成26年10月、多治見法人会が主管した県下女性部会連絡協議会に具原氏が岐阜北税務署長として出席され、ご講評いただいたことが懐かしく思い出されました。



永年の功績に対し深く敬意を表し、ますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。